

「千葉県連 50 周年記念山行」 水室山 と 関 大塚山 と 豊岡 愛宕山

山 域 : 房総の山

日 時 : 3 月 12 日(土)

天 候 : 曇りのち晴れ

参加者 : 斎藤一(L)・菅井(SL)・柘植・吉瀬・加藤・小俣(記)

(1) 水室山:みむろやま

富津市更和のセブンイレブンで待ち合わせ、水室山登山口へ移動。登山口の路肩に駐車 9:00 出発。コンクリート打ちされた急な道を、雨上がりでツルツルと滑りそうになりながら登っていくとゴルフ場の裏手にたどり着く。OB になったゴルフボールがいっぱい落ちている。突き当りのここから登山道になり、尾根上を直登。山頂につくと小さな石の祠があり、三角点に着く(215m)9:25~30。特に展望もなくが電波塔が目立つ山頂で記念撮影。北側の尾根から登頂、東側の尾根から下山のコースどり。電波塔をぐるりと回って東側の踏跡から下る。マテバシイが根っこ部分から沢山枝分かれしたチョット変わった樹形で何本も生えている。穏やかな尾根を下っていくと、北側に切れ落ちたところで北側の展望が開ける。里が見下ろせ、冬枯れの様がほっこりする。神社に向かって下山予定でしたが、踏跡・赤テープに導かれ尾根末端へ下山、車道に飛び出す 10:10。車道を駐車地点までもどる途中、意外な高さで水室山頂上の電波塔が望める。



水室山の山頂(三角点のみで標識なし)



下降に選んだ尾根は踏み跡や赤テープあり



下山途中から望む水室山



最後はこんな急斜面を降りて車道へ

(2) 関 大塚山

千葉には大塚山と名の付く山が沢山ある。頭に地名を付けて区別しているようだ。今回は関にある大塚山に登る。地元の山神社の境内に車を止めさせてもらって出発 11:05。村中の道をたどり「大塚山登山口」と道標のある地点で、イノシシ除けの電気柵を跨いで入山 11:25。登山口の岩山の上には石碑が納められ、信仰が感じられる。横目で見て登山道に入る。ゆっくり標高を上げ、少し急登を登ると裏に回り込むように稜線の道に出る。西から登り、概ね東側を巻くように稜線下につけられた道を行く。木がずり落ちスリリングな岩尾根になっているところが一部あり。下山の分岐を確認する為にピークに登り目印を残す。山頂直下は急登になり滑らないよう気を付けて登る 12:00。来た道を引き返し、分岐より西へ下山。複雑な尾根の形で思わず枝尾根の道に行きそうになる。GPS に助けられ折り返すように登山道を取り、道間違えを起こさずに行ける。その後順調に高度を下げていくが、崖で行き止まり、右下に現れた沢型の源頭を横切って隣の尾根に移る。下り着くと民家の裏に出たのだが、イノシシ柵が高くなかなか超えることができない。ようやく越えれそうな所を見つけ裏庭から車道へ出る 1:20。山裾の道を集落へ向かってもどる。神社着 2:00。



関 大塚山登山道入り口



崩壊斜面をさけて尾根筋を登る



関 大塚山の山頂



最後のヤブ斜面(手前の柵越えが難関)

(3) 豊岡 愛宕山

戸面原ダム近くの市民の森 入口の道標に導かれ車道をどんどん上がっていく。みるみる見晴らしが良くなり、車道を跨ぐ大鳥居を潜り抜け山頂近くの市民の森駐車場へ 2:00。富津市民の森パノラマ広場が愛

宕山になっている。駐車場から2分で階段を上り、神社にお参り。アスレチック広場で童心にかえり、パノラマ広場で展望を楽しみました。左手、鋸山がピラミダルな三角形に見え一際目を引く、晴れていれば正面に富士山も見えるはず、東京湾観音の白い姿はよくわかる、東京湾も少し見え、鹿野山の山並みへと続いている。



山頂広場からの展望



ローラー滑り台で遊ぶ

今回登ったやま

